

【目指す姿】

- どこに住んでいても、どんながんになっても、安心して適切で安全な患者本位のがん医療を受けることができます。

【全体の数値目標】

- （設定しない）※個別に数値目標等を設定

【今後の方向性】

項目	方向性	【参考】現行計画の方向性
1 医療提供体制の充実強化	① がん診療連携拠点病院の機能強化 ② 医療連携体制の充実 ③ <u>小児がん・希少がん・難治性がん対策の推進</u> ④ <u>A Y A世代，高齢者世代への対応</u> ⑤ <u>チーム医療の推進</u>	◆がん診療連携拠点病院の機能強化 ◆医療連携体制の充実 ◆人材育成
2 医療内容の充実	① 手術療法の充実 ② 放射線療法の充実 ③ <u>薬物療法の充実，適切な免疫療法の推進</u> ④ <u>支持療法の推進</u> ⑤ 病理診断の充実 ⑥ 口腔ケアの推進 ⑦ がんのリハビリテーションの提供 ⑧ <u>臨床試験の推進</u>	◆放射線療法の充実 ◆化学療法の充実 ◆手術療法の充実 ◆その他の低侵襲治療の充実 ◆病理診断の充実 ◆口腔ケアの推進 ◆リハビリテーション分野との連携 ◆臨床試験に関する情報提供

第3次広島県がん対策推進計画の「がん医療分野」における国計画への対応方針

広島県がん対策推進計画【現行】	国の次期がん対策推進基本計画の方向性	次期県がん対策推進計画(国計画への対応方針)
<p>【目指す姿】 どこに住んでいても、どんながんになっても、安心して適切で安全ながん医療を受けることができます。</p> <p>【今後の取組の方向性】 1 医療提供体制の充実強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携拠点病院の機能強化 ・医療連携体制の充実 ・人材育成 	<p>【目指す姿】 ビッグデータや人工知能を活用した患者本位のがんゲノム医療等を推進し、個人に最適化されたがん医療を実現する。また、がん医療の質の向上と、それぞれのがんの特性に応じたがん医療の均てん化と集約化により、効率的かつ持続可能ながん医療を実現する。</p> <p>【今後の取組の方向性】 1 医療提供体制の充実強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院等を活用したがんゲノム医療提供体制の構築（国） ・がんゲノム医療に対する患者、家族の理解を促し、心情面でのサポートや治療法選択の意思決定支援ができる体制の整備（国） ・がんゲノム医療に必要な人材の育成（国） ・がん医療の均てん化の促進（拠点病院等） <p>標準的な手術療法、放射線療法、薬物療法等の提供体制、緩和ケア、がん相談支援センターの整備、院内がん登録、がんセンターボードの実施等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院等の質の格差の解消（国） <p>診療実績等を用いた他の医療機関との比較、第三者による医療機関の評価、医療機関間での定期的な実地調査等を行うための方策の検討</p>	<p>【目指す姿】 どこに住んでいても、どんながんになっても、安心して適切で安全ながん医療を受けることができます。</p> <p>【今後の取組の方向性】 1 医療提供体制の充実強化</p> <p><u>①がん診療連携拠点病院の機能強化</u></p> <p>⇒国において対応</p> <p>⇒国において対応</p> <p>⇒国と同様に対応</p> <p>⇒国と同様に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携拠点病院の機能の充実 ・広島大学病院、広島赤十字・原爆病院、広島市民病院、県立広島病院の特色を組み合わせた全県のがん医療機能の拡充を推進 <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学療法について拠点病院間で相互評価を行うなど、PDCAサイクルを導入した取組に着手

広島県がん対策推進計画【現行】	国の次期がん対策推進基本計画の方向性	次期県がん対策推進計画(国計画への対応方針)
	<ul style="list-style-type: none"> ・より質の高い医療提供体制の構築（国） 拠点病院等の整備指針の要件が未充足の施設に対する指導方針，各要件の趣旨や具体的な実施方法等の明確化等について検討 ・拠点病院の要件の見直し（国） ゲノム医療，医療安全，支持療法等の新たな項目の検討 ・ゲノム医療，一部の放射線療法，小児がん，希少がん，難治性がん等について一定の集約のあり方について検討（国） ・イノベーションの推進と国民皆保険の持続性を両立し，将来にわたって必要かつ適切ながん医療を提供するための，がん治療への国民負担の軽減と医療の質の向上に関する必要な取組（国） ・革新的な新薬創出を促進するための仕組みの見直し(国) ・地域の実情に応じた病院と在宅医療との連携や患者のフォローアップのあり方の検討（国） ・拠点病院と地域の関係者等の施設間の調整役を担う者のあり方を見直しの検討（国） ・「地域連携クリティカルパス」のあり方を見直しの検討（国） 	<p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県指定拠点病院への対応について今後検討 <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来高精度放射線療法の集約化した広島高精度放射線治療センター（HIPRAC）による高度な放射線治療の提供 <p>⇒国において対応</p> <p>⇒国において対応</p> <p><u>②医療連携体制の充実</u></p> <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広島県がん医療ネットワーク」の充実強化の取組の推進 ・がんよろず相談医の参加による医療体制の充実 <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅緩和コーディネータを配置した在宅緩和ケアモデル事業の実施 ・退院カンファへの在宅医の参加 <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携パスの普及促進

広島県がん対策推進計画【現行】	国の次期がん対策推進基本計画の方向性	次期県がん対策推進計画(国計画への対応方針)
	<ul style="list-style-type: none"> ・小児がんへの対応（国） 小児がんに関する十分な治験・臨床研究を行える体制整備の検討，小児がん拠点病院の役割及び集約化と均てん化の体制の見直し，小児がん拠点病院以外の連携体制の検討 ・希少がん対策 希少がんに関する中核的な役割を担う機関の整備，患者の集約や施設の専門化の推進，希少がんに対応できる病院と地域の拠点病院等との連携の推進，学会・臨床研究団体・患者団体等の連携の一層強化，基礎研究から臨床研究まで一貫した研究の推進 ・難治性がん対策 難治性がんの臨床や研究に関する大学や所属機関を超えた人材育成の体制整備，研究成果が臨床現場におけるエビデンスに基づいた標準的治療の確立や医療の提供につながるようなネットワーク体制の整備 ・AYA世代への対応（国） AYA世代のがんに関する小児がん拠点病院で対応可能な疾患と成人領域の専門性が必要な病態の明確化及び診療体制の検討，治療に伴う生殖機能等への影響等，世代に応じた問題について，治療前の正確な情報提供及び必要に応じて適切な専門施設に紹介するための体制の構築 ・高齢者への対応 高齢者の診療に関する診療ガイドラインの策定，普及 	<p>③小児がん・希少がん・難治性がん対策の推進</p> <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児がん拠点病院を中心に県内の医療機関間の連携を図り，患者の集約化を進め医療の質向上を推進 <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <p>④AYA世代，高齢者世代への対応</p> <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児がん拠点病院と連携した実態の把握と対策の検討 ・広島がんと生殖医療ネットワーク研究会の設置 <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が策定した診療ガイドラインの普及

広島県がん対策推進計画【現行】	国の次期がん対策推進基本計画の方向性	次期県がん対策推進計画(国計画への対応方針)
<p>《分野目標及び参考指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院の機能強化と医療連携の充実による、がん医療の均てん化の推進 ・拠点病院の地域連携パス適応患者数 ・広島県がん医療ネットワークの参加施設数 ・広島県がん医療ネットワークの検診施設等における、がん早期発見体制の強化 ・小児がん医療提供体制の拠点化の推進 ・5大がん以外の医療提供体制の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じたがん対策に対応できる医療従事者等の育成の推進（国） ・チーム医療の連携体制の整備（国） がん患者の状況に応じて必要なサポートを受けられるようなチーム医療の体制強化 ・がんサポートボードへの多職種の参加促進（国） 	<p>⇒国と同様に対応</p> <p>⑤チーム医療の推進</p> <p>⇒国と同様に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養サポートチーム，口腔ケアチーム，緩和ケアチーム，感染症防止対策チーム等，チーム医療の推進 <p>⇒国と同様に対応</p> <p>《分野目標及び参考指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院の機能強化と医療連携の充実による、がん医療の均てん化の推進 ・拠点病院の地域連携パス適応患者数 ・小児がん医療提供体制の拠点化の推進と小児拠点病院以外との連携強化 ・5大がん以外の医療提供体制の情報提供

広島県がん対策推進計画【現行】	国の次期がん対策推進基本計画の方向性	次期県がん対策推進計画(国計画への対応方針)
<p>【今後の取組の方向性】 2 医療内容等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線療法の充実 ・化学療法の充実 ・手術療法の充実 ・病理診断の充実 ・口腔ケアの推進 ・リハビリテーション分野との連携など 	<p>【今後の取組の方向性】 2 医療内容等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体への負担の少ない手術療法や侵襲性の低い治療等の普及や安全な新たな治療法の実現に資する医療機器の開発の推進（国） ・NCDを活用するなど手術の質の担保と向上（関係団体） ・定型的な術式での治療が困難な希少がん，難治性がん等の一定の集約化を行うための仕組みの構築（国） ・多領域の手術療法に対応できる医師・医療チームの育成（国） ・がん医療を専門とする医療従事者の養成（国） ・標準的な放射線療法の提供体制の均てん化の推進（国） ・科学的な根拠に基づいた治療の推進（国） ・R I 内用療法を推進するための体制整備の検討（国） ・緩和的放射線照射のがんに携わる医師等への普及啓発（国） ・がん医療を専門とする医療従事者の養成（国） 	<p>【今後の取組の方向性】 2 医療内容等の充実</p> <p><u>①手術療法の充実</u></p> <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <p>⇒国と同様に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術療法に関する専門医，麻酔医等の育成及び適正配置 <p><u>②放射線療法の充実</u></p> <p>⇒国と同様に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島高精度放射線治療センター（HIPRAC）による高精度放射線治療の広域的な提供及びがん診療連携拠点病院を中心とした精度管理の充実 ・広島高精度放射線治療センター（HIPRAC）による精度管理 <p>⇒国と同様に対応</p> <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <p>⇒国と同様に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア研修会等による普及啓発 H29.6.3 サポートドクターフォローアップ研修予定 <p>⇒国と同様に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線治療専門医，医学物理士等の育成及び適正配置

広島県がん対策推進計画【現行】	国の次期がん対策推進基本計画の方向性	次期県がん対策推進計画(国計画への対応方針)
	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院等への外来薬物療法に関する多職種による院内横断的な検討の場の設置（国） ・薬物療法に携わる院内の全ての医療従事者への外来薬物療法に関する情報共有，啓発等（国） ・拠点病院等と地域の医療機関の薬剤師と薬局等との連携体制の強化（国） ・新規薬剤に関する情報やゲノム情報を活用した適切な薬物療法の提供（国） ・新規薬剤に関する情報やゲノム情報を活用した適切な薬物療法を提供するための体制整備及び人材育成（国） ・がん医療を専門とする医療従事者の養成（国） ・薬事承認を受けて実施される免疫療法について関係団体等が策定する指針等に基づいた適切な使用の推進（国） ・免疫療法に関する正しい情報の提供のあり方について関係団体と連携して検討（国） ・革新的であるが非常に高額な医薬品の効果的・効率的な使用のあり方の検討（国） ・支持療法に関する実態の把握及びそれを踏まえた研究の推進と診療の実践（国） ・患者視点の評価も重視した，支持療法に関する診療ガイドラインの作成（国） ・がん医療を専門とする医療従事者の養成（国） 	<p><u>③薬物療法の充実，適切な免疫療法の推進</u></p> <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院等によるレジメンの適切な審査の推進 <p>⇒国と同様に対応</p> <p>⇒国と同様に対応</p> <p>⇒国と同様に対応</p> <p>⇒国と同様に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物療法専門医，認定薬剤師及び認定看護師等の育成と適正配置 <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <p><u>④支持療法の推進</u></p> <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <p>⇒国の状況に応じて対応</p> <p>⇒国と同様に対応</p>

広島県がん対策推進計画【現行】	国の次期がん対策推進基本計画の方向性	次期県がん対策推進計画(国計画への対応方針)
<p>《分野目標と参考指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院の放射線治療専門医数, 医学物理士数 ・がん薬物療法専門医, がん薬物療法認定薬剤師, がん化学療法看護認定看護師配置拠点病院数 ・常勤病理専門医配置医療圏域数 ・高精度放射線治療センター(仮称)の運営開始 ・拠点病院における放射線治療の連携体制の整備 ・レジメンの審査体制の整備 ・周術期の口腔ケア提供体制の普及 	<ul style="list-style-type: none"> ・病理診断医の育成等に対する支援(国) ・臨床検査技師等の医療従事者の適正配置の検討(国) ・病理コンサルテーション等による正確で適正な病理診断を提供する体制の強化(国) ・ビッグデータやAIの利活用等による病理診断支援システムの研究開発の推進(国) ・ ・がんのリハビリテーションを含めた医療提供体制のあり方の検討(国) 	<p>⑤病理診断の充実</p> <p>⇒国において対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病理専門医等の育成と適正配置 <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <p>⇒国の状況に応じて病理診断のネットワーク化を検討</p> <p>⇒国において対応</p> <p>⑥口腔ケアの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院内の医科歯科連携や地域の歯科診療所との連携による周術期口腔ケア提供体制の充実 <p>⑦がんのリハビリテーション提供</p> <p>⇒国の検討状況に応じて対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんに関する知識を持つリハビリテーションスタッフの育成とがん治療分野とリハビリテーション分野の連携推進 <p>⑧臨床試験の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民に対する普及啓発及び情報提供 ・広島大学病院, 広島赤十字・原爆病院, 広島市民病院, 県立広島病院のネットワークを活用した治験の推進 <p>《分野目標と参考指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院の放射線治療専門医数, 医学物理士数 ・がん薬物療法専門医, がん薬物療法認定薬剤師, がん化学療法看護認定看護師配置拠点病院数 ・常勤病理専門医配置医療圏域数 ・拠点病院における放射線治療の連携体制の整備 ・周術期の口腔ケア提供体制の普及 ・がんリハビリテーションの提供